事例No.	2348
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	古館まちづくりの会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・組織改革 ・ICT

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（古館まちづくりの会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

ふるだて
古館まちづくりの会 ①

02

【概要】

立地自治体		岩手県紫波町	人口規模		約8,700人
設立年度		令和元年度	活動エリア		小学校区と概ね一致する
構成団体	構成団体	市民活動団体	体制		事務局の中に役員も含まれている
			法人格の有無		有（NPO法人）
	協力団体	地域の子ども・青少年育成に関わる団体 事業所 行政関係機関	詳細	役員	3名（うち非常勤・有償2名、非常勤・無償1名）
				役員以外	2名（うち非常勤・有償2名）
			ホームページなど		https://furu-machi.com/top

【具体的な活動内容】

【子育ち支援、子育て支援】

- 地域と連携し、体験活動を取り入れた学童保育を運営（ヤンチャークラブ）や、4～6年生および中学生の放課後学習支援（スイッチクラブ）、緊急時の在宅学童に対する支援（SOSダイヤル）などの事業を運営し、より地域のニーズに沿ったこどもの居場所づくりに取り組んでいる。また、町とも連携しながら町営の学童保育事業を補完する役割を担っている。

【地域ニーズの調査と改善】

■住民アンケート調査を通じたニーズの把握

- 「古館地区住民全員アンケート調査」を実施し、古館地区全体の集計のほか、自治公民館や行政区毎（19）の個別分析を通じて、地域のニーズを把握している。

■公民館窓口のミニ相談

- 公民館の窓口業務の一部を受託し、住民の困りごとを聞く場をつくり、解決につなげる活動を行っている。また、公民館が把握した住民のニーズを共有してもらい、活動につなげている。





出典：古館まちづくりの会 資料

■団体サポート

- 活動が形骸化していたり、担い手が不足している団体の話し合いの場づくりや活動の棚卸し、地域への情報発信などのサポートを実施している。
- 団体の事務局の代わりに帳簿作成や文書、資料の作成をサポートしている（事務局おたすけ隊）。

ふるだて
古館まちづくりの会 ②

02

【デジタルツールを活用している取組事例】

取り組み	多世代の人材を活かしたまちづくり活動
経緯・狙い	• 地域課題への取組方針を検討するうえで、当初は高齢世帯に対して支援を行うことを考えていたが、地域ニーズを整理するなかで、子育て世代などの若年世帯についても支援を求めている実状が把握できた。 • 若年世帯については、地域活動に参加することは難しい年代だが、若年の理事のアイデアを活用しながら、若い方の困りごとの解決に力点を置いた事業を展開することとなった。
取組の概要	• 20～30歳代のメンバーのアイデアに基づき、中高年のメンバーが実行部隊となり、ICTを活用した地域活動などに取り組んでいる。WEB会議ツールの活用や、日中働いている方でも参加しやすい時間帯に理事会を開催するなど、多様なメンバーが参加しやすい工夫を行っている。 • 高齢者がスマートフォンを活用して、支援者に対して体調を報告することで、ICTを通じて独居高齢者の見守りを行ったり、体調の悪い方を発見して、家族につなぐなどの取組を実施している。 • このため、高齢者などのデジタル弱者を対象にしたスマートフォン講座を開催している。 • 古館地区防災ポータルサイトの作成・運用、維持管理を実施している。 • 若者世代を中心に全世代が楽しく地域活性化の取組に参加できるような活動を実施している。
成果	• 当初は、支援者を通じた見守り活動を行っていたが、支援者の負担が大きかったことから、支援対象である高齢者にスマートフォンの使い方を教えることで負担を減らすことができた。 • 具体的には、若年世帯が講師となったスマホ講座を開催し、高齢者から直接家族に安否確認を行うなど、従来の見守り活動を改善することができた。
今後 取組みたいこと	• 引き続き、子育て世代のニーズの把握や課題の抽出に取り組みつつ、地域の困りごとを解決するための話し合いの場づくりのサポートを実施していく。 • 緊急時における高齢者支援の迅速化のため、2次元コードを活用した情報伝達方法等の検討を行う。





出典：古館まちづくりの会 資料